

ドローイングとは何か

多くのアメリカの美術館にはジャンル別の専門部署と専属キュレーターがいるが、その中に版画、ドローイング、写真といった部門があって、絵画や彫刻と一線を画している。わが国の美術には過渡的な形で写生やデッサンは存在したが、ドローイングという表現領域はなかった。今日言葉だけが一人歩きして、紙の上に描かれたものをみなドローイングと呼んでいるようだが、これはどうも日本だけの現象である。因みに「ドロー」(Draw)というのは、「引っ張る」「線を引く」という意味で、「ドローイング」と呼ばれる表現は普通「線描画」と訳され、鉛筆、コンテ、ペンなどで描かれた線の集積による絵画のことである。世界には「版画とドローイング」の国際コンペもあって、この方面の芸術活動は活発である。

西欧では15世紀末に活躍したドイツのデューラーを始め、数多くの銅版画家が見事な線描の極地を見せており、美術を志すものはみな一度は鉛筆やペンだけで豊かな絵画世界を作り上げたものである。一方型染めや木版の伝統技法を背景に独自の進展を遂げた版画王国日本にはなぜ版画と密接な関わりを持って育ってきたドローイングが根付かなかったのか不思議でならないが、今からでも遅くないと今回の企画を立ち上げた次第である。(金澤 毅/美術評論家)

ドローイング 作品募集

第1回「ドローイングとは何か」展



1. 王舒野 WANG SHUYE
1963 中国黒龍江省生まれ
1989 北京中央工芸美術学院卒 卒業作品国家金賞受賞
1990 来日
2001~2005 個展(日本橋高島屋 他)
2009~2010 個展(池田20世紀美術館)



2. 酒井崇 SAKAI TAKASHI
1978 長野県生まれ
2003 多摩美術大学油画専攻卒業
2008 酒井崇虚る画展(東京・東向島)
2009~2010 酒井崇ホールペン画展(東京・京橋)



3. 谷英治 TANI EIJI
1981 富山市生まれ
2004 富山大学教育学部美術教育専攻卒
2006 フランス国家造形資格(D.N.A.P)取得
Ecole Supérieur des Beaux-Arts de Cornouaille卒
2008 第2回VAADビジュアルアート大賞展最優秀賞



4. 向井三郎 MUKAI SABURO
1964 福岡生まれ
1989 東京藝術大学大学院美術研究科修了
1992~1994 オランダ政府奨学金によりハーグ市に滞在
王立造形芸術アカデミーに在籍
個展・グループ展多数

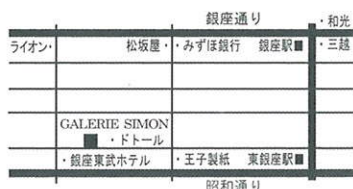


5. 山田和枝
女子美術大学卒
1976~1977 シェル美術賞展
1986 日本国際美術展
1987 デッサン大賞展 準大賞
2002 トリエナーレ枕崎 風の芸術展

第1回「ドローイングとは何か」展は、金澤毅氏が30年という歳月をかけて集めた500点余りのドローイング資料より優れた5人の作家を選出させていただきました。彼らの豊かな表現力に驚かされます。緊張感に満ちた1本1本の線は美しく知的です。これを機会にぜひご覧いただきたくご案内申し上げます。
ギャラリー志門 代表 深井美子

ギャラリー志門

〒104-0061
東京都中央区銀座6-13-7新保ビル3F
Tel:03-3541-2511 Fax:03-3541-2512
E:mail:g-simon@bu.ij4u.or.jp
URL:http://g-simon.com/



●第2回「ドローイングとは何か」展 出品作品募集

会期：2011年1月24日(月)~1月29日(土)

会場：ギャラリー志門

主催：「ドローイングとは何か」展開催実行委員会(代表 金澤毅)

※詳細は事務局にお問い合わせください。(事務局：03-3541-2511)

▼企画概要

ドローイングとは本来、絵の具で面を塗るpeintureとは対照的な画法で単色の線画、線描を意味しますが、日本の現代美術界においては習作や下絵をドローイングと称することがあります。金澤毅氏は、ドローイングを完成された線描画としてそれらと一線を画されなければならないとして「ドローイングとは何か」展開催実行委員会を立ち上げました。本展は、優れたドローイング作品を見出し、国際基準に見合ったドローイング展を開催することを目的とします。

▼募集内容

■第一次審査について

第一次審査はポートフォリオを拝見し選出します。応募料：3,000円

■第二次審査について

第一次で選出された中から作品による審査を経て入選者を決定しグループ展を開催します。

■最終審査

入選者によるグループ展の中から最優秀賞1名、優秀賞2名決定します。<審査員>金澤毅(美術評論家) 中林忠良(美術家)

▼賞

- ・賞/最優秀賞：1名 優秀賞2名
- ・最優秀賞：同展開催実行委員会主催・個展開催
- ・入選者：入選者によるグループ展。カタログ作成(作成費実費)

▼応募締め切り

第1次審査 2010年9月30日(木)当日消印有効

▼出品資格

- ・線描、線画による単色の作品
- ・具象・抽象は問いません。

▼応募方法

お申し込みの手順

ギャラリー志門まで直接ポートフォリオをご持参されるか、ホームページより応募要項をダウンロードして必要事項を記入の上、ポートフォリオを添えて事務局までお送りください。ダウンロードできない方は80円切手を同封の上、下記まで応募用紙をご請求下さい。

「ドローイングとは何か」展開催実行委員会事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座6-13-7 新保ビル3F ギャラリー志門内

TEL:03-3541-2511 Fax:03-3541-2512

E:mail:g-simon@bu.ij4u.or.jp URL:http://g-simon.com/